

# 事業主体別整理表(たたき台)

	メリット	デメリット
地域住民等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業の導入に対する地元の同意が得られやすい</li> <li>◆地域の利益を優先した還元が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆金融機関からの借り入れは中核主体の信用力が影響する</li> <li>◆事業継続の後継者の確保が必要</li> <li>◆開発に当たっての専門的な知識が不足</li> </ul>
公的機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆採算性の取れる最低限のラインまでの事業が可能</li> <li>◆公共サービス等を通して、住民への利益還元が可能</li> <li>◆公益的なアプローチによる許認可手続き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業実施に当たり、議会の同意など、内部手続きに一定の時間が必要</li> <li>◆コスト削減に対するインセンティブが働きにくい</li> </ul>
民間企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自己資金や融資による資金調達が可能(融資は企業の信用力による)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域住民の理解を得るためには十分な説明が必要</li> <li>◆利益は企業の利益とするのが一般的</li> </ul>